

作品No. 39

作品名『日常』



『アピールポイント』と『シャッターを切るに至った思い』

自分にとって青春を1番感じる時はいつだろうと考えた時、教室で普段通り授業を受けること、だと感じました。この教室の窓から差す光、その光に体が照らされてぽかぽか暖かくなり眠たくなる授業、それを写真に収めたいと思いシャッターを切りました。